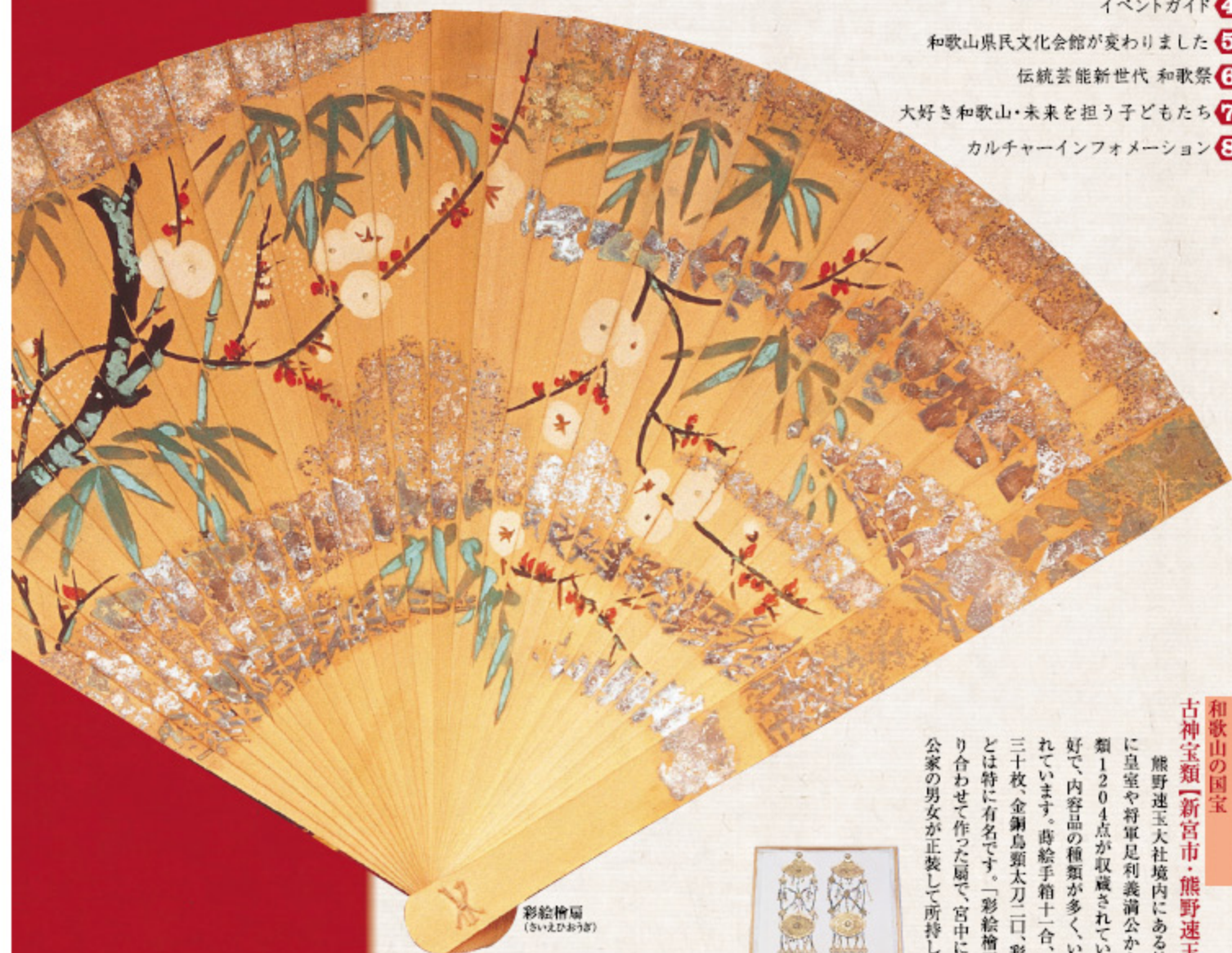


Contents

- アーティストメッセージ 2
- 歌舞伎役者 上村吉弥さん 3
- 和歌山県文化表彰受賞者 藤白神社宮司 吉田昌生さん 4
- イベントガイド 4
- 和歌山県民文化会館が変わりました 5
- 伝統芸能新世代 和歌祭 6
- 大好き和歌山・未来を担う子どもたち 7
- カルチャーインフォメーション 8



彩絵繪扇
(さいえひえうせん)



桐唐草蒔絵手箱
(きりからくさまきえてはこ)



玉佩 (たまけい)

和歌山の国宝 古神宝類【新宮市・熊野速玉大社】

熊野速玉大社境内にある神宝館には室町時代に皇室や将軍足利義満公から寄進された古神宝類1204点が収蔵されています。保存状態が良好で、内容品の種類が多く、いずれも国宝に指定されています。蒔絵手箱十一合、玉佩二リユウ、挿頭華三十枚、金銅鳥類太刀二口、彩絵繪扇十握、装束などは特に有名です。「彩絵繪扇」は繪の薄皮をつくり合わせて作った扇で、宮中においての儀式に際し、公家の男女が正装して所持したものです。

artist message

アーティスト メッセージ

若い人たちにもっと 歌舞伎を見に来てほしい

6月8日(木)午後2時から、和歌山県民文化会館大ホールで、「平成18年度歌舞伎鑑賞教室 歌舞伎・その美と歴史への招待」が開催されます。和歌山県出身で、女方として活躍される上村吉弥さんに歌舞伎の魅力や今回の見どころについてお聞きしました。



歌舞伎役者
上村吉弥さん

本名・中東達也 屋号・美吉屋 4月27日生(牡羊座) 血液型A型 和歌山の織物業者に生まれ育ち、高校生の頃、大阪新歌舞伎座でアルバイトをしていたのを機に歌舞伎好きとなり、昭和48年、片岡我當に入門。その年の10月に大阪新歌舞伎座で初舞台を踏み出しました。昭和62年には東京・歌舞伎座で中村勘三郎が名題披露をしました。平成5年11月、南座顔見世興行にて、六代目上村吉弥を襲名。「咲くやこの花賞」「大阪府民劇場賞」「十三夜会賞」などを受賞。また平成9年度には和歌山県文化奨励賞も受賞しています。勉強熱心で堅実な演技は着実にその評価を高めており、女方も立役も器用にこなす花形です。今回の絶間姫も上品な美貌を武器に好演が期待されます。



左、片岡我當さん
右、上村吉弥さん

Q 和歌山のお生まれとのことですが、和歌山で印象に残っている思い出や出来事は何ですか？

A たくさんありすぎて言いきれませんが、子供のころに春秋には山へハイキングに行き、栗なんかを取って帰った思い出がありますね。

Q 歌舞伎の魅力はどんなところですか？

A それはやはり女方という存在です。男のいかつい体を捨てて、演じる女らしさは歌舞伎の華です。

Q 舞台に立つ上で心がけていることは何ですか？

A 体力がないといけませんから暴飲暴食は避けて、よく寝ることですね。

Q はじめて歌舞伎を見る方へのアドバイスをお願いします。

A いろいろな入り方があると思いますが、そのお芝居の物語をよく読んでみるとか、好きな役者のファンとして観劇するなど、歌舞伎音楽、衣裳、

その他、色々ですね。

Q 6月の「歌舞伎鑑賞教室」の意気込みと見どころを教えてください。

A 今回は鳴神の絶間姫という絶世の美女のお役です。絶間姫には好きな恋人がいるのですが、その恋の成就のために鳴神上人の行法を破りに来るという、芯の強い女性ですし、あの手、この手で鳴神上人を落とす、女方として見どころの多い役です。

Q 今度歌舞伎を通じてどのような活動をしていきたいとお考えですか？

A 関西でもっと歌舞伎公演が増えるように若い人たちにも見に来ていただけるような分かりやすい歌舞伎を上演できたらと思います。

Q 和歌山の方へのメッセージをお願いします。

A 毎年のように生まれ故郷でもうれしいです。今年もがんばりますので、よろしくお願いいたします。



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

平成17年度 和歌山県文化奨励賞

藤白神社宮司・
紀州語り部の会代表世話人 **吉田昌生さん**

昭和11年、海南市生まれ。国学院大学卒。和歌山県立高等学校教諭勤務のかたわら「紀伊万葉の会」代表を務めた。「紀州語り部の会」代表世話人として、熊野参詣道の顕彰と語り部の養成に貢献する。和歌山県教育研究奨励賞。和歌山県教育功労賞。和歌山県観光連盟会長表彰。



新春親子ハイキング大会で熊野古道について解説

「熊野古道を踏破せずして熊野の神主をする資格がない」と、熊野那智大社の元宮司・篠原四郎さんの呼びかけに応え、吉田さんは昭和43年頃から祈りの道「熊野古道」を歩き始めました。当時の古道は荒れ果て、草むらに覆われたり、道が途中で蔽になっていたりと、歩くのが大変で、保全と保護の必要性を感じ、以来、大阪から本宮までの踏破を繰り返し、古道の現状を明らかにしてきました。

さらに昭和61年、和歌山県観光ガ

イド専門員「紀州語り部」制度発足時より語り部として登録し、現地をガイドしながら沿道の歴史や文化を紹介、熊野古道の魅力を伝えました。平成2年には日頃の活動状況や情報意見交換をするための「紀州語り部の会」発足を呼びかけ、熊野古道を詳しく解説するための基礎講座も開き、紀州語り部活動の礎を作りました。平成10年にはだれもが親しみ、歩きやすいように「熊野古道ガイドマップー熊野への道」を出版、熊野古道に関する歴史・文化の情報発信源となっています。

古く万葉の時代から和歌浦の美しい景観は短歌に詠まれています。吉田さんは開発の波に揺れる和歌浦の景観保護を呼びかけ、「紀伊万葉の会」を設立し、不老橋を中心とした景観保全にも尽力しました。江戸時代

に柳沢吉保が和歌浦の景観を模した庭園「六義園」を作りましたが、県下には知る人が少なく、和歌浦の魅力をより広く多く知らせたいと活動を始めています。

「和歌山は歴史や文化の宝庫です。このすばらしい故郷を大切に守り、熊野古道や和歌浦を親子や孫と一緒に歩いてほしいですね。自然に触れながら成長することは、環境保護の精神も養われると思います」と語り、今後もさまざまな情報発信を続け、新たな発見や全容を明らかにした熊野古道や九十九王子についての詳しい研究本を書く予定だそうです。

5月21日(日)に午後1時30分からきのくに志学館で開催される「和歌浦セミナー」でシンポジストとして「六義園」について解説されます。



王子めぐりの旅の藤白神社・熊野本

平成17年度

きのくに芸術新人賞

世界を舞台に心に残る音楽を創り、
芸術文化の発展と国際交流に尽くしたい

6歳からピアノを始め、小学6年と中学3年の時に「和歌山県小中学校作曲コンクール」の最優秀賞を受賞。仲間が自作を歌ってくれた感動が作曲家を目指す原点に。10年間に及ぶ留学中には指揮法や伴奏法も習得し、イタリア国際音楽コンクール作曲部門最高位入賞や数々の国際作曲コンク

ールで受賞を重ね、自作曲は欧州や米国で演奏され大学の現代音楽教材となっています。帰国後はピアノ演奏と講演会も開催。「昨年は組曲『世界遺産の高野・熊野に寄せる』を発表しました。今後シリーズで創り続け、和歌山の魅力を世界中に発信したい」と岡谷さんは力強く語ります。

作曲家・
ピアニスト
岡谷かおりさん



昭和46年、和歌山市生まれ。神戸女学院大学作曲専攻卒。大学院在学中に渡仏。パリエコールノルマル音楽院作曲科で高等ディプロム取得卒業。同作曲研究科修了。パリ国際コンセルバトワールピアノ科で1位メダル受賞修了。平成14年度和歌山市文化奨励賞受賞。神戸女学院大学非常勤講師。

6/木
8

初めての人もわかりやすく楽しい歌舞伎公演!

歌舞伎鑑賞教室

- 開演/午後2時
 ■場所/和歌山県民文化会館(大ホール)
 ■入場料金/一般(自由席)1500円・学生800円
 ●チケット発売中 ※団体割引(10名以上)あり

関西から
文化力

「歌舞伎を観に行きたいけれど、歌舞伎についてなにも知らないとちょっと不安…」そんな方も、安心してご覧いただける歌舞伎公演です。第一部「歌舞伎へのご案内」は、見どころ、音楽、歴史など歌舞伎のいろはを楽しく分かりやすく解説していく歌舞伎入門講座です。

第二部では「鳴神」を上演。「高僧が女のために墮落する」というこの作品の主題は、能の「一角仙人」や「太平記」などにもみられますが、歌舞伎においては安田縫文、中田萬助、津打半十郎が「毛抜」「不動」とあわせた三部作として新しく組み立てたのが「雷神不動北山桜」です。現在の台本は、岡鬼太郎が「雷神不動北山桜」の四段目から抜き出して一幕物にまとめ、明治43年に東京・明治座で二代目市川左團次が復活上演したものです。

物語では、朝廷に恨みを抱く鳴神上人が龍神を滝壺に閉

じこめたことから雨が一滴も降らず、人々は干ばつに苦しんでいます。そこで雲の絶間姫が遣わされ、美女の色香に迷った上人は破戒墮落し、行政も破れて大雨が降るという結末を迎えます。

前半の見どころは、雲の絶間姫が自らの恋物語を身振り手振りによる「仕方話」で語る場面で、これは歌舞伎独特の技巧のひとつとなっています。後半は、欺かれたと知った鳴神上人の「荒れ」が見せ場。髪・衣裳・隈取りも変わって豪快な荒事となります。

特に衣裳においては、演技を中断することなくあつという間に替える「引き抜き」という手法がみられます。上半身の部分がバラッと裏返しになり全体が火炎の模様になる「ぶつ返り」という手法で、一瞬にして役柄の性格を衣裳によって早替わりでみせます。そんな伝統の美と技が詰まった舞台上、歌舞伎の醍醐味をご堪能ください。



片岡我當さんのプロフィール

本名・片岡秀公 屋号・松嶋屋 1月7日生(山羊座)、血液型・A型 歌舞伎界の名門、十三世片岡仁左衛門の長男として生まれ、五歳の時、大阪歌舞伎座で初舞台を踏み出しました。歌舞伎に対する愛情が深く、この鑑賞教室に情熱を注ぎ、上方歌舞伎発展のために尽力しています。重要無形文化財総合指定保持者で京都府文化功労賞、真山青果賞大賞など、数々の賞を受賞。アメリカ・ワシントン州名誉

州民、カナダ・カルガリー市名誉市民、昨年春の叙勲にて「旭日双光章」受賞。この人の魅力は、明るく朗らかな声と律儀で一本気な芸風です。そしてどんな役でも真心を込めて全身全霊で演じる姿勢がいつまでも変わらず清々しいです。近年芸風や風貌も父に似てきて、ますます芸に滋味や重厚さが漂う貴重な存在です。今回の鳴神上人は「歌舞伎鑑賞教室」では5年ぶりの再演となりますが、年齢を感じさせない豪快な舞台を堪能させてくれそうです。

7/土
8

音楽家の卵たちが自慢の音色を奏でる

第34回 和歌山県新人演奏会

- 開演/午後1時
 ■場所/和歌山県民文化会館(大ホール)
 ■入場料金/自由席1000円
 ●チケット発売 5/29(月)～

関西から
文化力

音楽を学ぶ優秀な若者を広く県民に紹介するクラシックコンサート。当日はオーディションで選ばれた音楽家の卵

たちが集結! 声楽、器楽、邦楽などさまざまなジャンルの若き音楽家が、フレッシュな演奏を披露します。



4月1日
から

和歌山県民文化会館が変わりました!!

指定管理者制度のもと、引き続き文化振興財団が県民文化会館の施設の管理運営と文化事業を担うこととなりました。お客様のニーズにフレキシブルにお応えする新サービスをご利用ください。

①年末年始以外は「年中無休」で営業。

②各種割引プランが誕生!

早割得々プラン

大ホールは利用日の2年前から120日前までに申込み・ご入金いただくと、準備・本番に係る施設基本料金を5%割引します。

シーズン割引プラン

下記指定月に大ホールをご利用いただくと、本番基本料金を20%割引します。
①「夏割プラン(5月)」②「秋割プラン(9月)」③「冬割プラン(1月)」利用料が「最大80,360円割引」

スクール応援プラン

学校にご利用いただく場合、大・小ホールの本番基本料金を30%割引します(本番を含む「無料」の催しに限る)。終日利用で大ホール利用料が「最大49,920円割引」、小ホール利用料が「最大14,940円割引」

【割引サービスでの注意事項】●各種割引サービスの併用はできません。●割引の対象は「施設基本料金」のみとなります。附属設備・追加人件費等は含まれません。

お得な
情報!!

1

お客様のご利用形態に応じ、一番安価な価格で施設利用料金をご提供させていただきますサービスも引き続き実施します。

2

ホールにおいて、練習または事前準備のために利用される場合は、利用料金表の70%の金額となります。

③施設の利用料金が最大50%OFF!

会議室の夜間料金 最大7,330円割引

会議室の夜間利用料金の大幅「値下げ」サービス

1 従来の夜間(17:30~21:30)利用料金を、昼間(13:00~17:00)の利用料金と同額とし、最大7,330円割引します。また、利用区分ごとの利用料金の端数値引きを行います。

	特設会議室	大会議室	中会議室	30人用会議室(2棟)	18人用(6室)	和室	特別会議室
新料金	16,400円	13,400円	8,700円	5,400円	2,300円	4,500円	12,600円
旧料金	23,730円	16,900円	10,810円	7,030円	2,940円	5,460円	15,750円

2 大ホール・小ホール利用料金の「値下げ」サービス
利用区分ごとの利用料金の端数値引きを行います

3 リハーサル室利用料金の「値下げ」サービス
利用料金を最大50%割引します。

④駐車場料金を大幅値下げ!

一般駐車料金
30分/100円

一般駐車一日最大料金
1,400円

一般駐車料金
月額/15,240円

40分/100円 24時間/1,200円 月額/14,700円

⑤大ホール予約受付期間を延長しました

⑥ホームページで施設の空室状況を照会できます。

⑦舞台演出や文化事業企画のサポートコーナーを開設。

⑧カルチャーサロンがオープン!

個展やミニ展示会の開催にご利用いただける多目的会議室「カルチャーサロン」がオープンしました。カルチャーサロンは1日単位でご利用も可能です。



新設のカルチャーサロンNo.1(写真上) No.2(写真下)

DATA 和歌山県民文化会館

住所/和歌山市小松原通1-1

TEL/073-436-1331

開館時間/午前8時45分 ※県民ロビーは8時半

予約受付時間/午前9時~午後9時半

貸出施設/

会議室20室、大ホール2000席、小ホール400席、展示室3室、カルチャーサロン2室、リハーサル室1室

URL <http://www.wacaf.or.jp>

時を越えて万葉集の世界へ

万葉の歌人や多くの旅人に愛されてきた和歌浦。片男波公園にある万葉館では、万葉集の研究や万葉集と和歌山について、さらに万葉集の時代や歌人について学べる資料等を展示しています。他にも映像を使った万葉シアターやギ

ャラリー展示で、万葉集のたおやかな歌世界を体感できます。また、毎週水曜日には健康館でテニススクールも開催。コーチングスタッフが丁寧に指導してくれるので、まずは気軽に体験レッスン(要予約)にご参加ください。



DATA 和歌公園管理事務所・万葉館

住所/和歌山市和歌浦南3-1700-2 TEL/073-446-5553

料金/万葉館入場料 大人200円、大学生・高校生100円、中・小学生及び65歳以上の方・身体障害者の万葉館

開館時間/午前9時~午後5時 (万葉館の入館は午後4時半まで)

定休日/年中無休※但し、年末年始(12月28日~1月4日)及び点検日は休館日となります



48種類の技を組み合わせ、戦いの中で敵陣へ新り込んでいく姿を表現。総勢27、28人のメンバーが和歌祭の晴れ舞台を目指して、練習に取り組んでいます

伝統
芸能

新世代

地元伝統文化を引き継ぐ
新しい世代による活動を紹介します

「和歌祭」に向けた練習を通し、 伝統の武芸を次世代へ継承

江戸時代から紀州徳川家の加護のもと、文化が華咲いた和歌浦。その象徴が、徳川家康をまつる紀州東照宮の祭礼「和歌祭」です。

祭の始まりは、江戸時代の元和8年(1622)。かつては日本3大祭として名を馳せましたが、戦後は人手不足や資金難から衰退していました。この伝統文化を後世に受け継いでい

こうと「和歌祭保存会」が発足。平成12年には、ついに地元和歌浦で和歌祭再開を果たしました。

今年の和歌祭は5月14日。地元の伝統芸能を集約化した行列が神輿に従い町中を練り歩きます。行列の各種目は「株」組織として、和歌浦の地に代々受け継がれています。

「薙刀振」は行列の中でも、最も勇

壮とされる種目のひとつ。毎週日曜日には、この株を引き継ぐ畑中生好さんの指導のもと、地元の子供たちが主となって練習を行っています。「芸の伝承には練習の積み重ねが一番大切」と語る畑中さん。「練習の場を提供することで、伝統の継承者たちを育てていきたい」と次世代の若い力に期待を寄せています。

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流協会

和歌山県国際交流協会は県の国際化に努め、県民の国際交流や国際理解の推進のため、平成2年に県、市町村、そして民間が一体となり設立されました。国際交流に関する情報収集と提供、国際理解を深めるための啓発、および国際交流を推進するための各種事業を行っています。

国際交流に関する各種相談の受付のほか、国際交流に関する講演会やセミナー等を開催しています。県内に在住、勤務、通学する外国人の

方が、地域社会にとけ込んで生活を送れるよう日本語クラスや日本文化理解講座などを開催しています。

定期刊行物として、ふれあい機関誌「WAKU WAKU」を発行し、協会をはじめ、和歌山県の国際交流活動を紹介しています。

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8F
和歌山県国際交流センター内
TEL: 073-435-5240

開館時間/午前10時～午後6時30分
休館/水曜日・祝日(日曜日が祝日の場合、日曜日を開館し翌日の月曜日が休館)・年末年始(12月29日～翌年1月3日まで)

募集

平成18年度 和歌山県
舞台芸術活動支援事業
県内在住者または本県出身者で、音楽、演劇、舞踊等創造的で文化的な活動に取り組む個人及び団体を支援します。

平成18年度和歌山県 地域文化育成事業

「和歌山県に関わりの深い内容」を事業テーマに設け、そのテーマに添った事業内容(舞台芸術)を公募・支援します。

【募集期間】平成18年5月20日(土)～平成18年6月20日(火)
詳しくは和歌山県文化振興財団(ワカフ)までお問い合わせください。
TEL:073-436-1331



和歌祭

東照宮の108の石段を勇ましい御輿が駆け下り、その後、雑賀踊り薙刀振りなどの渡御行列が続き、和歌浦周辺を練り歩きます。

【開催日2006年5月14日】

御輿おろし11:00～、渡御行列12:30
 和歌浦周辺 JR和歌山駅、南海和歌山市駅からバス「権現前」下車
 和歌祭保存会(紀州東照宮)
 ☎073(444)0808

We Love Wakayama

大好き 和歌山



2005年9月23日「音のスケッチ」
県民文化館参加

ピアノ音楽の向上を目指して…

社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)和歌山支部

ピアノ教育と文化の発展に貢献しているピアノ指導者の全国組織ピティナ。和歌山支部は1985年に加盟し、ピアノコンペティションの地区予選を担当してきました。現在の会員は約130名で相互の交流や情報交換を行い、熱心な指導と多岐にわたる活動を展開しています。

幼児から高齢者まで幅広いピアノ学習者が日頃の練習成果を再確認できる「ピアノステップ」検定やコンサートを開催。ピアノと歌と劇による「音楽物語」などの公演で、音楽を楽しむ心を育てると共に奏法やテクニックなどピ

アノレベル向上に尽力してきました。

また、文部科学省の委託事業・生涯学習「大人のためのピアノ教室」を和歌山市と協力して開催し、40歳以上の初心者が4回のレッスンを受け両手で弾けるまで指導し、その後、サークルでコンサートができるよう支援する活動も5年間にわたり、現在6サークルに及んでいます。

「ピティナの会員同士で互いを研鑽し、励まし合い、それぞれの生徒の成長をみんなで喜び合えることが支部の活力源です。いくつになってもピアノに親しんで欲しいと思います」と支部長の森淳子さんは語ります。

5月14日(日)午後2時開演和歌山市民会館小ホールで山名敏之のレクチャーコンサート(18世紀後半におけるクラヴィア音楽概観)が和歌山支部主催で開かれます。入場料2000円。



2005年4月17日ピアノステップ・生涯学習で学んでいる方々の発表

未来 を 担う子どもたち

紀州子ども語り部誕生!
ふるさと和歌山をもっと知って



和歌山城の魅力をいっぱい知ってるよ



先生は大人の語り部さん



石垣に刻印を見つけた

NPO法人「青少年国際福祉教育協会」が行う養成講座を修了した9人の子供たちが、紀州子ども語り部として認定! 和歌山市のシンボルである和歌山城について時代背景を学び、実践学習を経てコンテス

トで成果を発表した子どもたち。その語りは大人顔負け。子どもたちが発見したのは、人に自慢できるふるさとの魅力でした。今後は大人の語り部と活動を共にする計画も。「自分たちが育ったまちに、もっと愛着が持てるように」、活動にはそんな願いも込められています。

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

特別展「和歌祭-祭を支えた人々、祭に込めた思い-」

■開催中～6月4日(日)

紀州東照宮の祭礼「和歌祭」。初公開となる絵巻のほか、これまでに確認できた和歌祭を描いた絵画資料や、江戸時代に使われていた舞楽装束、百面などの祭礼道具を展示します。関連企画として、講演会や会場での展示解説、和歌祭体験なども。



☎午前9時半～午後5時(入館は4時半まで) 休月曜 画一般500円・大学生300円(20名以上の団体は一般400円・大学生250円) ※高校生以下・県内の外国人留学生(就学生を含む)・65歳以上・障害者の方は無料

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

特別企画展「ベトナム近代絵画展 花と銃-インドシナ・モダンの半世紀」 ■開催中～5月28日(日)

ベトナム近代絵画を体系的に紹介する日本で初めての展覧会。ハノイにインドシナ半島最初の美術学校が設立された1925年から、ベトナム戦争が終結した1975年までの半世紀。西洋から流入する美術と自国の伝統を融合し、絹絵や漆絵といった独自のジャンルを形成しつつ発展してきたベトナム近代絵画の歩みを、約90点の作品によって辿ります。アオザイを着た女性が描かれた牧歌的な日常風景から労働者や兵士を描いた力強い表現まで、美しくもたくましいベトナム絵画の魅力が満載です。

特別企画展「現代『日本画』の展望-内と外のあいだで-」

■6月10日(土)～7月30日(日)

練馬区立美術館との交流企画。日本画の世界で独自の表現を確立した画家たちや、日本画の材料で革新的な制作に挑む近年の画家の作品にいたるまで、「日本画」を幅広く紹介しその本質に迫ります。

☎午前9時半～午後5時(入館は4時半まで) 休月曜(祝日の場合は次の平日) 画一般700円・大学生450円 ※高校生以下・県内の外国人留学生(就学生を含む)・65歳以上・障害者の方は無料(常設展)一般310円・大学生210円 ※高校生以下・県内の外国人留学生(就学生を含む)・65歳以上・障害者の方は無料

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

「恐竜化石の探し方教えます」

■6月18日(日)午後1時～4時半

恐竜化石の探し方を教えてくれる楽しい体験教室。実際に石を割り、恐竜化石発見に挑戦します。応募対象は高校生以上一般で定員は30名。参加申込み方法などの詳細は問い合わせを。



☎午前9時半～午後5時(入館は4時半まで) 休月曜(祝日の場合は次の平日) 画一般460円 ※高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料 ※体験教室は103円(傷害保険料)別途

万葉館

☎073(446)5553

企画展(前期)「万葉和歌の浦写真展」

■開催中～6月25日(日)

斉明、持統、文武、聖武天皇と、4代の天皇が紀伊国へ行幸しましたが、とりわけ聖武天皇は和歌の浦の美しさに魅せられ、この地に難波野の離宮を築きました。1300年の時を経た和歌の浦は、どんな表情を見せてくれるのでしょうか。

☎午前9時半～午後5時(入館は4時半まで) 休年中無休(ただし点検日を除く) 画大人200円・大・高校生100円 ※中学生以下・65歳以上・障害者の方は無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

特別展「熊野・山に生きる知恵」

■開催中～6月18日(日)

熊野の山々には、豊富な資源を最大限に利用する「山に生きる知恵」が育まれてきました。棚田と水田の技術、日本最高級とされた熊野蜜、熊野式林業と独自の道具、山野草の利用、山のモノ作り、山ノ神信仰など熊野の豊かな民俗を紹介。この地に息づく山の暮らしを知ることができます。



提供/新宮市教育委員会

☎午前9時半～午後4時半(入館は4時まで) 休月曜(祝日の場合は次の平日) 画一般350円・大学生210円 ※高校生以下・県内の外国人留学生(就学生を含む)・65歳以上・障害者の方は無料

イベントスケジュール

5/22

日本が誇る世界的オーケストラの調べ

N響 和歌山公演



■開演/午後7時
■場所/和歌山県民文化会館(大ホール)
■入場料金/S席5500円・A席5000円・B席4000円(全席指定)
●チケット発売中

一流の指揮者を擁し、数々の名演を残すNHK交響楽団。創立80周年を迎え、さらに多彩な活動で国際的にも高く評価されています。公演の曲目は、モーツァルトの歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲、ブラームスの交響曲第1番ハ短調作品68など。

5/25

21世紀の天使の歌声に酔いしれる

ウィーン少年合唱団



■開演/午後7時(開場6時半)
■場所/紀南文化会館(大ホール)
■入場料金/一般4000円・中学生以下3000円(全席指定)
●チケット発売中 ※団体割引(10名以上)あり

楽都ウィーンの音楽使節として世界を旅するウィーン少年合唱団。永遠のスタンダードから世界で愛される歌まで、ジャンルを飛び越えたレパートリーで素晴らしい歌声を披露してくれます。編曲やステージ・プレゼンスなどもお楽しみください。

WAKA-P

文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県
【発行日】平成18年5月
【編集・問い合わせ】和歌山県文化振興財団(ワカプ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)
☎073(436)1331 FAX.073(436)1335
【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp